



このレポートは、住宅市場の把握に欠かせない各種データや経済指標により親しみを感じていただくためのものです。気軽にお読みいただければ幸いです。

## 住まい購入の資金援助の実際

～ウェブアンケートにみる親からの資金援助～

住宅市場研究室 小間 幸一 [kouichi-koma@toshinjyuken.co.jp](mailto:kouichi-koma@toshinjyuken.co.jp)

住まいの購入者層（購入済者&購入希望者）が親から資金を援助してもらうことはよくある話だ。しかし、実際はどのようなものなのだろうか？実態を知るために当研究所では住まい購入者層（購入者済者&購入希望者）へのウェブアンケート（愛知県在住、サンプル数＝215件、6月）を実施した。

### ●親（親族含む）からの資金援助について（表1）

一戸建てやマンション等の購入者を含む全体の結果を見ると、資金援助をしてもらっている人40%に対し、資金援助をしてもらっていない人60%に分かれる。

次に資金援助をしてもらっている人（40%）の中身をチェックしてみよう。一位が「100～300万円未満」で7.91%、二位が900～1,100万円未満で7.44%、三位が500～700万円未満で6.05%であった。

1,100万円で一線を引いてみると、100万円未満から1,100万円未満が合計で29.77%となっている。資金援助を受けている40%の中で約7割が1,100万円未満という結果だ。

さらに高額な資金援助の状況はどうなっているだろうか。3,100万円以上はさすがに少なく、1.86%となっている。ほとんど家一軒分に相当する金額だが、割合からすればほとんど例外といってよいだろう。

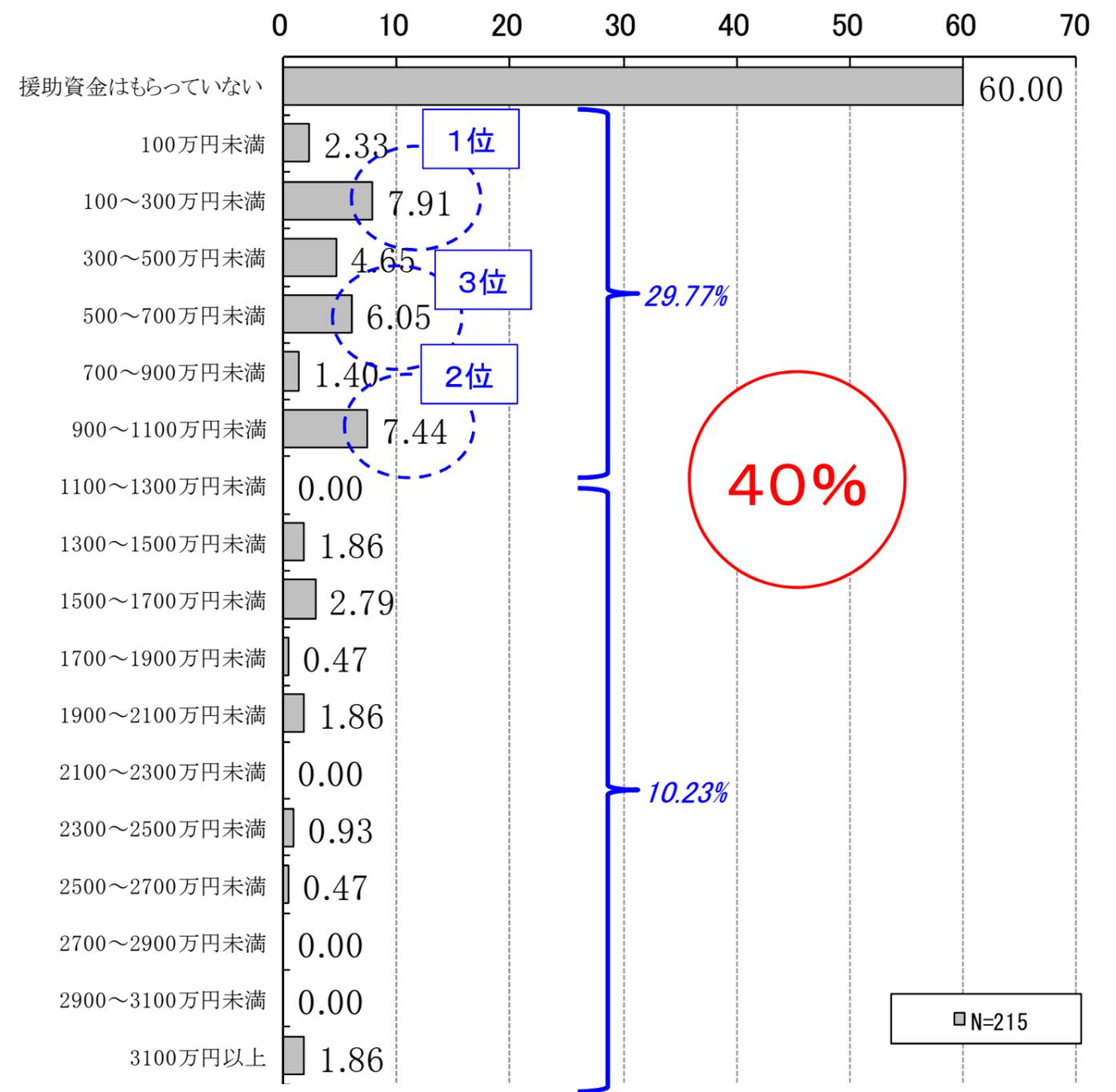
今回のアンケート結果では、資金援助をしてもらっている人は半分よりやや少ない程度であった。多くの場合その金額も住まい購入資金の「諸経費+アルファ」というのが実態のようだ。住まいは自らの資金で、自らの思いを込めて、というのが昨今の世相のように思われる。

以上

本ページの内容はあくまで執筆者の個人的見解に基づくもので、当社としての正式見解と必ずしも一致するものではありません。予めご了承願います。

表1. 親、親族からの資金援助

資金援助(単数回答) (%)



調査対象者 : 愛知県在住で3年以内に戸建住宅・マンションを購入した、または3年以内に戸建住宅・マンションを購入したい人

サンプル数 : 2013年6月調査 n=215

調査会社 : 株式会社インテージ [www.intage.co.jp](http://www.intage.co.jp)

データ分析 : 東新住建株式会社住宅市場研究室